

令和5年度和歌山支部事業実施状況について



令和5年度和歌山支部K P I 結果

担当	事業計画	KPI	R4実績	R5目標	R5実績	支部達成度	協会全体の達成度	協会全体
業務	1・基盤的保険関係	サービススタンダードの達成状況	100%	100%	100%	○	×	99.9%
		現金給付等の申請に係る郵送化率	92.2%	96.0%以上	91.8%	×	×	95.6%
		柔道整復施術療養費の申請に占める、3部位以上、かつ月15日以上 of 施術申請の割合	0.93%	0.93%以下	0.88%	○	○	0.83%
		被扶養者資格の確認対象事業所からの提出率	94.4%	94.0%以上	93.1%	×	×	89.1%
レセプト	保険者機能関係	社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率	0.390%	0.390%以上	0.523%	○	○	0.423%
		再審査レセプト1件当たりの査定額	6,960円	6,960円以上	7,311円	○	○	8,472円
		年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内 of 保険証回収率	90.39%	90.39%以上	86.62%	×	×	82.10%
		返納金債権（資格喪失後受診に限る。） of 回収率	49.23%	49.23%以上	59.51%	○	×	53.29%
保健	2・戦略的保険者機能関係	生活習慣病予防健診受診率	52.2%	61.3%以上	54.1%	×	×	57.7%
		事業者健診データ取得率	14.9%	14.0%以上	14.6%	○	×	7.1%
		被扶養者の特定健診受診率	25.2%	31.0%以上	24.1%	×	×	28.3%
		被保険者の特定保健指導の実施率	17.6%	38.0%以上	19.2%	×	×	19.8%
		被扶養者の特定保健指導の実施率	32.4%	33.8%以上	32.5%	×	×	15.6%
		受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合	10.3%	13.0%以上	9.6%	×	×	9.2%
企画総務	健康宣言事業所数	健康宣言事業所数	748事業所	860事業所以上	874事業所	○	○	81,526事業所
		全被保険者数に占める健保委員委嘱事業所の被保険者数の割合	62.7%	62.7%以上	63.9%	○	○	52.6%
		ジェネリック医薬品使用割合	78.6%	80.0%以上	80.7%	○	×	44支部達成
		地域の医療提供体制等への働きかけや医療保険制度に係る意見発信	実施済	実施	実施済	○	×	41支部
	3・組織	一般競争入札に占める一者応札の割合	16.7%	20.0%以下	20.0%	○	○	9.9%

令和5年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

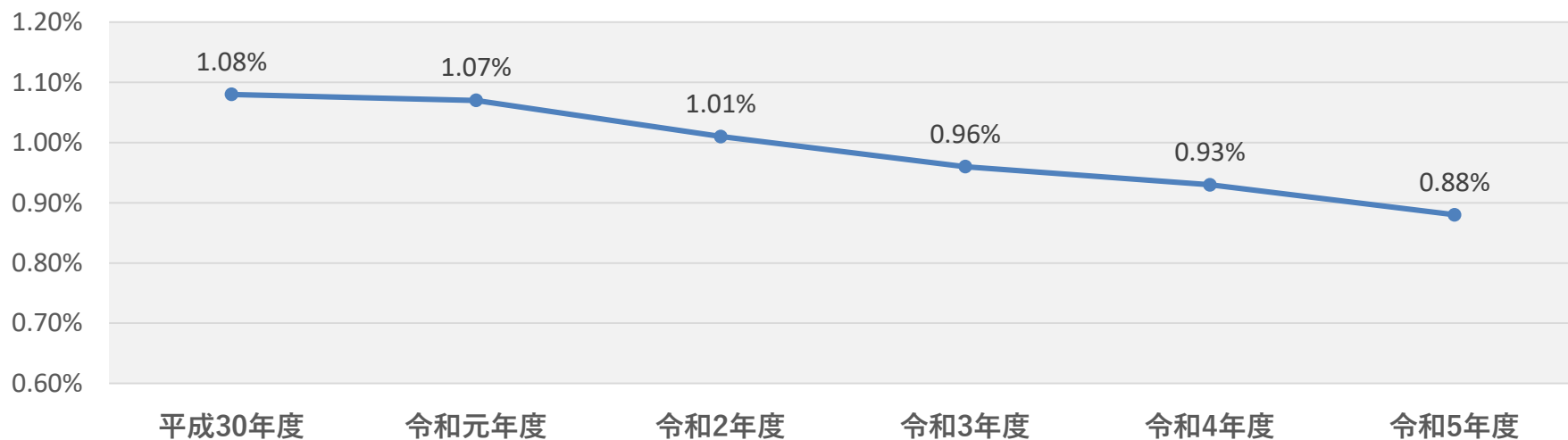
業務グループ

1. 基盤的保険者機能関係		主な取り組み内容等		今後の課題と対策									
(1)	サービス水準の向上	■令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により傷病手当金申請が急増するも、令和5年度は同感染症の感染状況も落ち着き申請数も減少した。サービススタンダード申請書（全支部共通の、受付から10営業日以内に振込までを完了させる給付金）について、日々の進捗管理を徹底し目標の100%を達成した。 ■お客様の利便性向上や負担軽減の観点から、すべての届書・申請書の郵送提出が可能な旨をホームページや各種広報媒体を活用し広報した。また、電話相談対応時においても郵送提出勧奨するも、健康保険証や限度額適用認定証等の交付を急がれる方や各種給付金の支給を急がれる方の窓口利用は一定数おられることで、目標は達成できなかった。 ■電話及び窓口の接遇に係るお客様満足度調査の結果から支部の課題を洗い出し、加入者サービス向上計画を更新し改善に取り組んだ。また、例年協会全体として実施されるお客様満足度調査前（令和6年度は3月に実施）には接遇スキル向上を目的とした外部講師による支部独自研修を実施（令和5年12月実施）した。		■正確・迅速・丁寧な事務処理を行い、サービス水準の向上に取り組む。 ■引き続き、サービススタンダード100%の達成を目指す。 ■ホームページ活用の案内及び申請書送付対応等、お客様の利便性向上に取り組む郵送化率を向上させる。 ■電話相談スキル向上を目的とした本部研修に参加し支部内で共有しスキルアップに繋げる。									
								KPI	サービススタンダードの達成状況	R4実績	R5目標	R5実績	達成度
								100%	100%	100.0%	○		
	KPI	現金給付等の申請に係る郵送化率	R4実績	R5目標	R5実績	達成度							
			92.2%	96.0%以上	91.8%	×							
(2)	限度額適用認定証の利用促進	■県内医療機関に対して、オンライン資格確認による限度額適用認定証等情報の取得活用いただくよう文書及び訪問により依頼を実施した。 ■引き続き、協力医療機関の窓口申請書を設置し、限度額適用認定証の利用を促進することで、加入者サービスの向上を図った。 ■支部広報誌やホームページ、メールマガジンなどによる広報を定期的実施した。 ■マイナ保険証利用により限度額適用認定証等の発行手続きが不要となることから、電話相談時における勧奨案内と、申請書送付時には勧奨チラシを同封し、マイナ保険証の利用促進に向けた取り組みを進めている。		■引き続き、医療機関への対応とオンライン資格確認及びマイナ保険証利用を勧奨し利便性向上に繋げる。 ■本年12月2日に健康保険証の新規発行の終了に伴いマイナ保険証利用について、周知・広報し利用促進に取り組んでいる。									

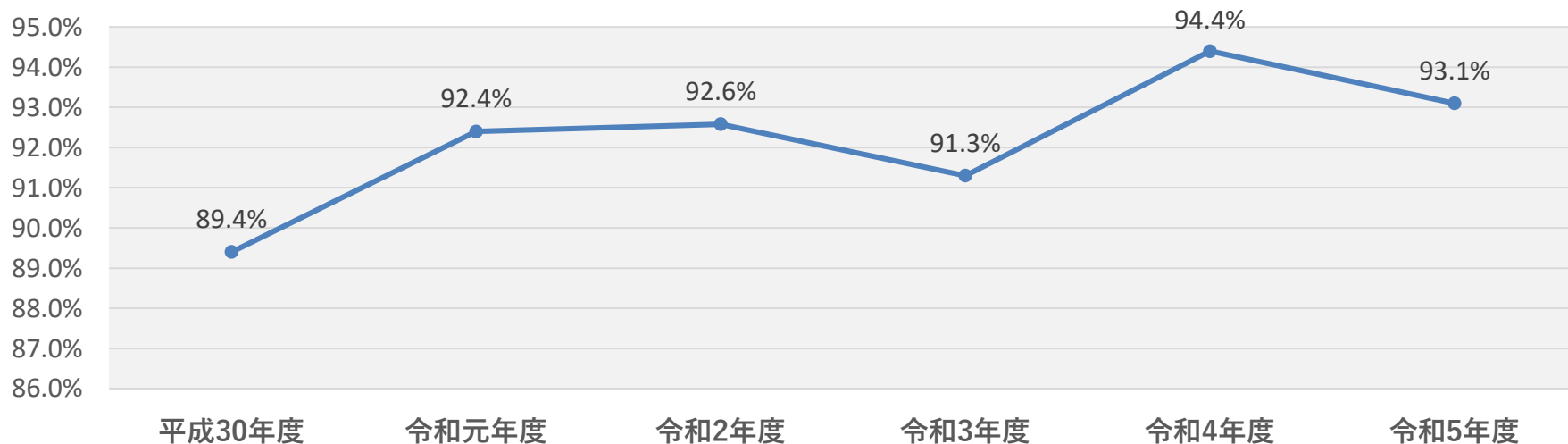
令和5年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

1. 基盤的保険者機能関係		主な取り組み内容等		今後の課題と対策			
業務グループ	(3)	現金給付の適正化の推進	■不正請求が疑われる傷病手当金及び出産手当金の事後調査を実施し、不正請求の防止に努めた。	■不正が疑われる事案については、厳格に対応する。 ■併給調整の管理を徹底する。 ■多部位、頻回、過剰施術にあたる柔整療養費の患者照会を行い適正受診に繋げる。 ■長期、頻回にあたるあはき（鍼灸・あんまマッサージ）療養費の患者照会を行い適正受診に繋げる。			
			■海外出産に係る出産育児一時金等の支給事務の一層の適正化に向けて、海外出産の事実確認を徹底している。				
			■傷病手当金との併給調整について、障害年金等は月次で進捗管理を徹底し、労災休業補償給付は労働基準監督署と連携し、適正化に努めた。				
			■濃厚施術や不正請求疑いのある接骨院・整骨院に対し面接確認を開始した。（2件実施）				
業務グループ	(4)	被扶養者資格の再確認の徹底	KPI 柔整の申請に占める、3部位以上、かつ月15日以上 of 施術申請の割合	R4実績 0.93%	R5目標 0.93%以下	R5実績 0.88%	達成度 ○
			■本部スケジュールに基づき、事前の関係団体等への協力依頼を実施した。	■スケジュール管理を徹底し、目標達成の見込みが厳しいと判断した場合は、早期の支部独自勧奨を実施する。			
			■未送達事業所への住所調査を行い再送達を迅速に実施した。				
			■未提出事業所に対して、本部の文書による一次勧奨後に支部からの二次勧奨を実施するも、一次勧奨方法の変更（リスト再送付方法から圧着ハガキ通知方法に変更）に伴い、勧奨効果が低下した可能性が高く目標を達成することができなかった。				
業務グループ	(5)	業務改革の推進	KPI 被扶養者資格の確認対象事業所からの提出率	R4実績 94.4%	R5目標 94.0%以上	R5実績 93.1%	達成度 ×
			■現金給付業務はじめ各種業務の事務処理においては、業務マニュアルや手順書に基づく統一的な事務処理を徹底し、業務の標準化・効率化・簡素化を推進している。	■引き続き、マニュアル・手順書に基づく統一的な事務処理を徹底する。 ■業務量の多寡に対応した柔軟な事務処理体制構築にむけた職員の多能化を計画的に育成していく。			
			■業務量の多寡や優先度に対応する柔軟な事務処理体制を臨機応変に構築することで生産性向上に繋げている。また、職員の多能化を推進すべく計画的に育成している。				
			■本部研修資料を活用し、窓口及び電話相談対応者の接遇スキル向上に繋げている。また、12月には支部独自で外部講師による電話対応研修を実施しスキル定着に取り組んだ。				

柔整の申請に占める、3部位以上、かつ月15日以上の施術申請の割合の推移 (平成30年度～令和5年度)



被扶養者資格の確認対象事業所からの提出率の推移(平成30年度～令和5年度)



令和5年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

1. 基盤的保険者機能関係		主な取り組み内容等		今後の課題と対策			
レセプトグループ	(6) 効果的なレセプト点検の推進	■自動点検システム等を活用した効率的な点検を図った。また、システムメンテナンスについては、新しい情報の取り入れと点検効果が薄れている項目削除の継続実施により、効果的な点検に繋がった。 ■他支部の高額査定事例を可視化することにより、高点数レセ優先の意識向上を図った。 ■外部講師を招いた研修の開催や他支部主催研修への参加など、新たな点検ポイントや着眼点を習得する機会を確保することにより、点検員個々のスキルアップを図った。 ■支払基金との打合せを密にし、支払基金の原審や査定事例に対する考え方を参考にすることにより、質の高い点検を志向した。 ■令和5年度の査定率は他支部に比べて高く、K P I 目標も大きく上回ったが、P C R 検査に絡むイレギュラーな査定が大きく寄与したものであった。		■支払基金の審査体制変更による点検傾向の変化に注視し、点検効率化を図る。 ■点検員個人別に強み弱みの傾向を分析・把握し、課題解消に向けた対応策を講じる。 ■近隣支部との協力連携を継続し、効果的な研修を実施する。			
		KPI	社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率	R4実績	R5目標	R5実績	達成度
				0.390%	0.390%以上	0.523%	○
		KPI	再審査レセプト1件当たりの査定額	R4実績	R5目標	R5実績	達成度
				6,960円	6,960円以上	7,311円	○
	(7) 返納金債権の発生防止のための保険証回収強化及び債権回収業務の推進	<保険証回収> ■回収フロー通りの速やかな文書催告、回収不能届に基づく電話催告を実施した。また、本部提供データに基づき、事業主に早期回収を働きかけた。 <債権回収> ■催告フローの一部見直し（短縮）を行い、債務者への早期お知らせを確実に実施した。 ■訪問催告、電話催告を強化し、保険者間調整も積極的に活用した。 ■複数回の催告にも応じない債務者に対しては、弁護士名による催告を実施した。また、法的手続（支払督促、強制執行）を活用し、最終的な納付に繋がった。		<保険証回収> ■各機会を利用し、引き続き早期回収を働きかける。(R6.12新証発行廃止に伴い、KPIも廃止となる。) <債権回収> ■高額、悪質等な債務者に対しては、費用対効果を踏まえ、法的手続を実施する。			
		KPI	年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率	R4実績	R5目標	R5実績	達成度
				90.39%	90.39%以上	86.62%	×
		KPI	返納金債権（資格喪失後受診に限る。）の回収率	R4実績	R5目標	R5実績	達成度
				49.23%	49.23%以上	59.51%	○

令和5年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

保健グループ

2. 戦略的保険者機能関係		主な取り組み内容等		今後の課題と対策			
(1)	特定健診実施率・事業者健診データ取得率の向上	〈生活習慣病予防健診対策〉 ■ 健診機関不足地域や加入者の多い地域を中心に集団健診を設定。 （4市3町、17回実施） ■ 集団健診設定地域の近隣事業所や、被保険者へ勧奨DMを送付。 【1回目・7月】事業所：8,622件・個人：59,630件 【2回目・12月】個人：46,383件 〈事業者健診データ取得対策〉 ■ 事業者健診データ取得に関する業務を外部委託にて実施。 （外部委託によるデータ取得件数4,864件、前年度4,124件） 〈被扶養者の特定健診対策〉 ■ 協会主催集団健診の実施。（30回実施、前年度28回） ■ 付加価値を付与した女性向け集団健診（ホテル健診）の実施。 （4回実施、計665名受診） ■ 協会主催集団健診と自治体がん検診との合同実施。 （和歌山市、海南市、橋本市）		〈生活習慣病予防健診対策〉 ■ 令和5年度からの自己負担額の軽減、6年度からの付加健診の対象年齢拡大を周知。 ■ 業界団体との広報連携。 〈事業者健診データ取得対策〉 ■ 管理職による事業所訪問（対面依頼） 〈被扶養者の特定健診対策〉 ■ ホテル健診の実施時期、特典のブラッシュアップ。 ■ アンケートによる意識調査と分析。			
		KPI	生活習慣病予防健診受診率	R4実績	R5目標	R5実績	達成度
				52.7%	61.3%以上	54.1%	×
		KPI	事業者健診データ取得率	R4実績	R5目標	R5実績	達成度
	14.9%			14.0%以上	14.6%	○	
	KPI	被扶養者の特定健診受診率	R4実績	R5目標	R5実績	達成度	
			25.3%	31.0%以上	24.1%	×	

令和5年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

保
健
グ
ル
ー
プ

2. 戦略的保険者機能関係		主な取り組み内容等		今後の課題と対策			
(2)	特定保健指導の実施率及び質の向上	■ 特定保健指導実施件数 被保険者 2,866件（前年度 2,556件） 被扶養者 192件（前年度 177件） 〈被保険者の特定保健指導対策〉 ■ 特定保健指導外部委託の推進 健診機関・民間業者による保健指導実施：評価669件（前年度640件） 民間業者による保健指導は I C T 遠隔面談・エバグリーン保険調剤薬局での特定保健指導実施 ■ 支部が初回面談を実施した者の継続支援を民間業者へ委託。評価2,117件（前年度1,823件） 〈被扶養者の特定保健指導対策〉 ■ 協会主催の集団健診で、健診当日の特定保健指導を実施できる会場を設定。 30会場で実施。（361人初回面談実施） ■ 「ヘルスアップ相談会」を開催（事業所での面談ができなかった方へ個人勧奨を実施） 歯科検診・ベジチェック測定・特定保健指導を実施 参加者 8/6：12名 9/3：17名		■ 健診当日の特定保健指導実施機関の拡大をする。 ■ 特定保健指導実施事業所の開拓をする。 ■ 事業所での保健指導実施が難しい人への遠隔面談や保険調剤薬局での保健指導などを案内し利用機会の拡大を図る。			
		KPI	被保険者の特定保健指導の実施率	R4実績	R5目標	R5実績	達成度
				16.6%	38.0%以上	19.2%	×
		KPI	被扶養者の特定保健指導の実施率	R4実績	R5目標	R5実績	達成度
				26.4%	33.8%以上	32.5%	×
(3)	重症化予防対策の推進	■ 高血圧・糖尿病未受診者への文書勧奨・電話勧奨・訪問による受診勧奨を実施。 また、R5.7からは、LDLコレステロール高値者にも受診勧奨を開始。 二次勧奨：（文書：2,297件 電話：164件 面談：142件） ■ 2年連続血圧・血糖高値者に対する受診勧奨用として、新規の案内リーフレットの作成。 ■ 腎機能の疑いのある方への専門医への受診勧奨および保健指導の実施。 （受診勧奨 81件 保健指導 1名）		■ 健診当日、一定の高血圧者に対して、医師・看護師が対面による受診勧奨を行う。また、1か月後をめどに受診できたか確認を行う。			
		KPI	受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合	R4実績	R5目標	R5実績	達成度
				10.3%	13.1%	9.6%	×

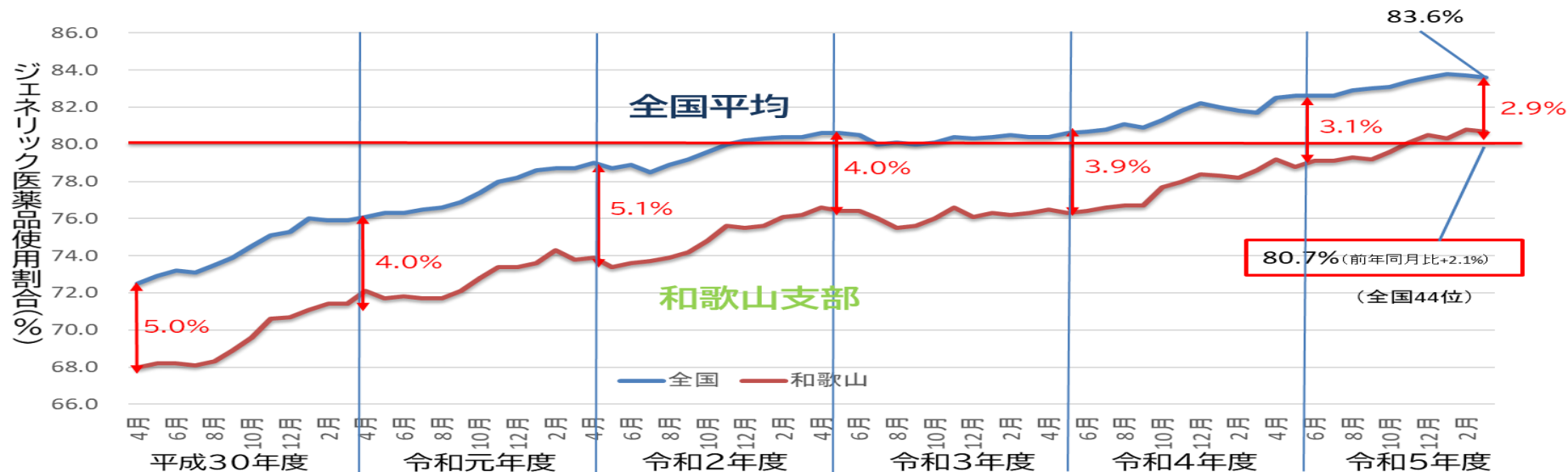
令和5年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

2. 戦略的保険者機能関係		主な取り組み内容等		今後の課題と対策			
企画総務グループ	(4)	コラボヘルスの推進	■健康宣言事業「わかやま健康づくりチャレンジ運動」を和歌山県と共同実施。 (新規登録事業所126社)	■「わかやま健康づくりチャレンジ運動」登録事業所の拡大。 ■健康経営優良法人認定事業所の拡大。 ■健康宣言後のフォローアップの強化。			
			■「わかやま健康づくりチャレンジ運動」登録勧奨を実施。(文書・電話勧奨実施)				
			■登録事業所に対するサポートの実施。(健康講座20件、血管年齢測定器37件、Inbody・出前講座申し込み43件)				
	(5)	広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進	■健康経営優良法人認定に対するフォローの実施 認定事業所：前年度86社→101社認定(協会加入事業所)	■健康保険委員委嘱数の増加。 ■小規模事業所への健康保険委員登録勧奨。 ■加入者理解率の向上。			
			■オンラインによる健康経営セミナーの開催(7月、9月)				
			■生保会社2社と健康経営推進のための連携協定を締結。(累計8社)				
			KPI				
			健康宣言事業所数				
			R4実績				
			748事業所				
			R5目標				
			860事業所以上				
			R5実績				
			874事業所				
			達成度				
			○				

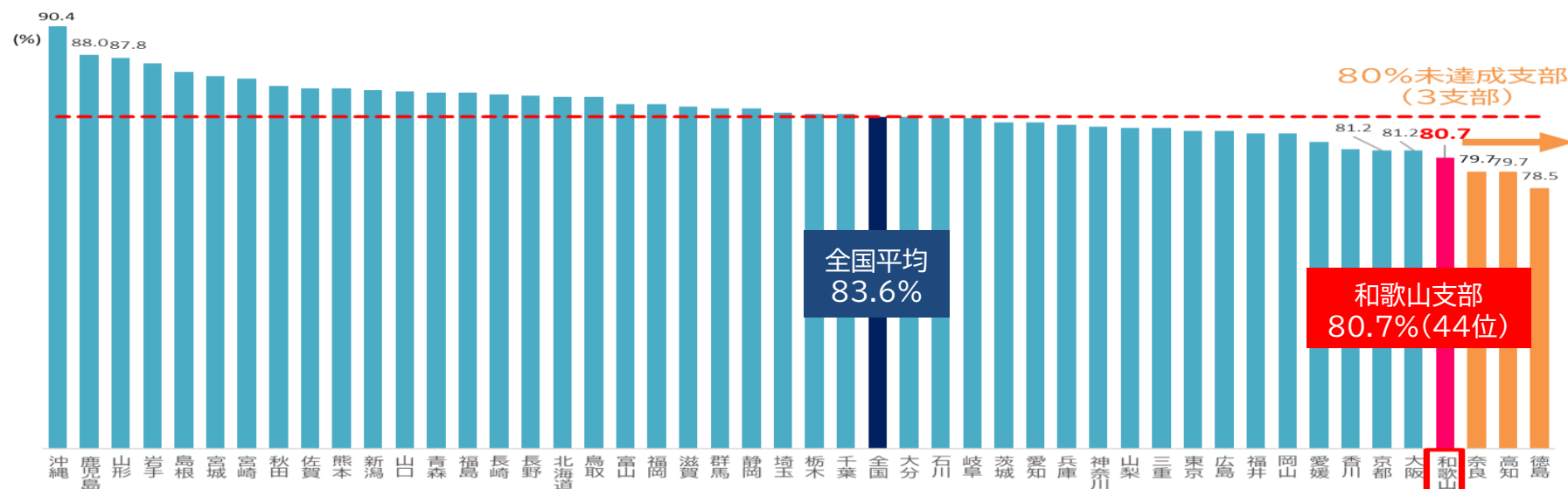
令和5年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

2. 戦略的保険者機能関係		主な取り組み内容等		今後の課題と対策			
企画 総務 グループ	(6)	ジェネリック医薬品の使用促進	■ 加入者ヘジェネリック医薬品軽減額通知を送付 （R5.8[21,302件]、R6.2[13,949件]）				
			■ 医療機関、薬局に対する情報提供ツールによる自院のジェネリック利用状況通知の送付。 ■ 和歌山県医薬品安心安全使用懇話会で取組を発表（3月）。 ■ 路線バスおよび公用車を活用した広報を実施。（ラッピング、車内放送） ■ 後発医薬品リストを調剤薬局に提供およびホームページで公開。 ■ ジェネリック医薬品の日（12月22日）に向け、計66本のTVCMを実施。また、12月22日当日にローカル番組内で支部長出演により使用促進を啓発した。 ■ ジェネリック医薬品の日に向け、計42本のラジオCMを実施。また、ラジオ放送の生番組内でジェネリックの宣伝を3日間実施。 ■ ジェネリック医薬品未使用者（約6,000人）に対し、シールを送付（令和6年2月）。				
		KPI	ジェネリック医薬品使用割合	R4実績	R5目標	R5実績	達成度
				78.6%	80.0%以上	80.7%	○
	(7)	インセンティブ制度の着実な実施及び広報	■ HP、メルマガ「協会けんぽわかやま通信」等での和歌山支部の実績を踏まえた広報の実施。	■ インセンティブ制度の周知。			
	(8)	地域の医療提供体制等への働きかけや医療保険制度に係る意見発信	■ 地域医療構想の実現に向けて協議の行われる「地域医療構想調整会議」において、県内7医療圏中、6医療圏に和歌山支部から委員を選出し、参画し意見発信を行った。 ■ 和歌山県が令和6年度に向けて策定する医療費適正化計画、健康増進計画の策定プロセスにおいて、意見発信を行った。	■ 医療費情報等を分析研究し、効果的な意見発信を行える体制の整備。			
			KPI 他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議での医療データ等を活用した意見発信の実施	R4実績 実施済	R5目標 実施	R5実績 実施済	達成度 ○
	(9)	調査分析の推進	■ 医療費等の分析を行い、分析結果について支部ホームページへ掲載。 ■ 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）の策定に向けた分析の実施。	■ 統計分析者の育成。			

ジェネリック医薬品使用割合の推移(平成30年4月～令和6年3月)



協会けんぽ都道府県支部別ジェネリック医薬品使用割合(令和6年3月診療分)【数量ベース】



令和5年度和歌山支部事業計画に基づく主な取り組み

3. 組織・運営体制関係		主な取り組み内容等		今後の課題と対策			
企画総務グループ	(1)	人事制度の適正な運用	■人事評価制度の運用を通じて、実績や能力本位の人事評価を実施。	■今後も引き続き、実績や能力本位の人事評価を実施する。			
	(2)	OJTを中心とした人材育成	■日々の業務遂行を通じた人材育成（OJT）を中心とし、それを補完する集合研修と自己啓発を組み合わせて人材育成に取り組んだ。	■引き続き、OJT、集合研修、自己啓発により、必要とされる知識を習得できる機会を提供する。			
	(3)	支部業績評価の向上	■各グループが支部業績向上に向け各事業について積極的に取り組みを行った。 令和5年度業績評価14位（令和4年度14位）	■業績評価結果を検証し支部課題への対策を実施する。			
	(4)	内部統制の強化	■コンプライアンス委員会の定期開催（2回）、支部コンプライアンス研修の実施。 ■本部コンプライアンス通信による啓発。 ■災害リスクに対し、安否確認システム、支部初動対応訓練及びビルにおける避難訓練の実施。 ■個人情報保護、情報セキュリティにおいて、管理職による毎月の端末チェック、自主点検及び全職員への研修の実施。	■引き続き、研修等を通じて、コンプライアンス基本方針、行動規範の理解及び浸透させるなどの意識醸成を図る。 ■定期的な訓練及び職員向けの啓発を実施し、危機管理にかかる習熟度を維持していく。			
	(5)	費用対効果を踏まえたコスト削減等	■随意契約にあって、100万円を超える案件については、調達審査委員会で調達内容、方法等を審議し、調達の適正化を図った。 ■一般競争入札案件5件のうち一者応札は1件であった。 ■その他少額案件についても、見積競争公告を実施し、複数者からの見積もりを徴取しコスト削減に努めた。	■十分な公告期間・実施期間の確保、業者への声かけ等、入札環境の整備。			
		KPI	一般競争入札に占める一者応札案件の割合	R4実績	R5目標	R5実績	達成度
				17%	20.0%以下	20%	○